

犯罪につながる奇妙な名前

ジェニファー・ハーパー

ママ、マイケルにしようよ。え、マルコム?それはダメだよ。

経済学者らが水曜日に発表した研究結果によると、男性のファースト・ネームから、その人の犯罪傾向を予測できる。彼らは、犯罪統計と 15,000 人以上のファースト・ネームの名簿を比較し、アメリカ人男性にはっきりとした”名前と犯罪の関連性”を明らかにした。

シッペンズバーグ大学のデビッド・カリストとダニエル・リーによると、知名度の低い名前、珍しい名前ほど、その名前の少年が刑務所に入る可能性は高くなるという。

「人種に関係なく、知名度の低い名前を持つ少年は犯罪行為に巻き込まれる可能性が高い」と、本研究は述べた。

名前には簡潔な値が適用された。一例えば、マイケルは 100 点と評価され、少年非行に関連する可能性が最も低い名前だった。デビッドは 50 点で中位に位置し、アレック、アーネスト、イヴァン、マルコム、タイレルは 1 点台で低迷した。

研究者らは、名前の知名度が 10% 増加するごとに、同じ名前の非行少年の数が 4% 減少することを発見した。

しかし、赤ちゃんにどんな名前を付けてはいけないか、という便利なりストはない。

「残念ながら、トップ 10 リストを作成するほど詳細にデータを調べたわけではありません」とカリスト氏は語った。「そのようなリストには統計的に問題がある可能性があります」

しかし、名前のバイアスには更に大きな意味がある。

「ファースト・ネームの特徴は、他の種類の犯罪や法律の研究に影響を与えるかもしれない。ファースト・ネームは犯罪の再犯を予測する役に立つだろうか?陪審員は有罪や刑罰を決定するために被告の名前に関する情報を利用するだろうか?」と、その研究では問う。

「警察官が、ある人のファースト・ネームに基づいてプロファイルし、その結果、知名度の低い名前の人を更に尋問したり身体検査したりするかもしれない。例えば、警察の交通取り締まりでは、固有の名前を持つドライバーの車輛捜索がより頻繁に行われるかもしれない」しかし、名前と犯罪の関連性は予測不可能であることが判明する可能性がある。

例えば、FBI の最重要指名手配逃亡者 10 人のファースト・ネームは、エドワード、ジェイソン、ロバート、ジェームズ、グレン、ビクター、アレクシスであり、ホルヘ、エミグディオ、ウサマと並ぶ。最後はウサマ・ビン・ラディンのことで、FBI はその姓を”O”ではなく”U”で綴っている。

この逃亡者の中には、かなりありふれた名前を持つ者もいる。社会保障局が発表した全米の男児の名前のトップ 1,000 最新リストによると、ジェームズは 15 位。ロバートは 47 位、ジェイソンは 59 位、ビクターは 104 位となっている。

そして理論上、その膨大なリストがこの方程式の参照として使用された場合、最も知名度のある名前トップ 3 —ジェイコブ、マイケル、イーサン— は、犯罪者になる可能性が最も

低いだろう。トリストン、ルロイ、ダクストン —最も知名度の低い— は犯罪者になる最も可能性が高いだろう。

社会的、及び文化的要因が関係している、とカリスト氏は述べ、その研究は学術誌”Social Science Quarterly”に掲載された。

「名前が犯罪の原因になる可能性は高いが、その名前は、恵まれない家庭環境、社会経済的地位の低い郡に居住していること、片親の家庭といった、犯罪に手を染める傾向を高める要因と関連している」と彼は述べた

しかし、奇妙な名前は、最も裕福な市民にもよく見られる。有名人は自分の子供に奇妙な名前を与えることで悪名高い。例えば近年、マジシャンのペン・ジレットは息子たちにモクシー・クライムファイターとゾルテンと名付け、歌手のグウェン・ステファニーは第二子男児にズマ・ネスタ・ロックと名づけた。